

早春の山歩き

2016/03/30 『富所』跡地で水芭蕉を見つけました。山ではカタクリが咲き、ヤマ桜が咲いているのを見つけ、山菜も採れ始めています。

帰りにはヤマドリ（オス）に出会うことができました。（写真はピンボケでしたので割愛しました）ショウジョウバカマ、エンレイソウも花が咲き、イカリソウのつぼみもありました。ヒオドシショウも乱舞していました。

カタクリが7分咲きでした（裏面参照）



ヤマ桜

『オクチョウジザクラ』という桜のようです。春の山では一番に『マルバマンサク』が咲き、続いてこの桜が咲きます。この桜の花が咲き始めると、いよいよ木々の芽吹きが始まります。



キクザキイチゲ

『キクザキイチゲ』 キンポウゲ科の多年草。竹之高地では「レンゲ」と呼んでいます。春、カタクリと同時に咲き始め、カタクリは日当たりの良いところを好み、イチゲは水分の多い場所に群生しています。咲き始めは濃い紫色をしたものから、初めから白色のものまであります。



オオバキスマイレ

『オオバキスマイレ』 スミレ科の多年草。積雪量の多い日本海側の山地に広く分布します。竹之高地では群生して自生しています。長岡の平地ではほとんど見ることはできません。



ミズバショウ

『ミズバショウ』 サトイモ科の多年草。葉の展開に先立って花柄を伸ばし開花します。白いのは花ではなく仏炎苞（棒状の花を包み込む苞を仏像の背景にある炎形の飾りに見立てたもの）で、本当の花は中心部の黄色いところについています。



カタクリ

カタクリ (春の妖精)

2016/03/30 カタクリの花 ユリ科の多年草

3月中旬にカタクリの早咲きの自生地で芽が出ていたものがようやく花開き、咲き誇っていました。

カタクリは早春に芽が出て5-10日で花が咲き、花に日が当たると、花が開き反り返ります。日差しがないと花は閉じたままです。花は10日くらいで終わり、その後葉や茎は枯れてしまいます。地上に姿を現す期間は4-5週間で、枯れてから夏の間は、地下で休眠状態となる。このため「スプリング・エフェメラル」(春の妖精)と呼ばれています。

カタクリは種が発芽してから花が咲くまで7年にかかるそうです。竹之高地東山植物園に種まき始めてから4年目となります、あと何年待てば花を見ることができるようでしょうか。



2016/03/30 白花カタクリ

今年も咲きました。2008年から毎年撮影を続けて9年になりました。ここは早く芽が出て、春の雪に降られることが多い場所です。つぼみから咲き始めまでは白いが、日がたつと薄ピンク色が見えてくるものが多く見られます。下の写真の花びらは薄くピンク色が見えています。右の1輪のものは白でした。右下はごく薄いピンク色がついていますが写真ではわかりづらいようです。花びらの紋様の色も違います、右下の2つは薄いピンクで、右は薄い黄色でした。

